



スクリーン印刷用インキ
2021.02.03 改訂
1998.07.15 制定

F P P

F P Pインキは無処理及び処理ポリプロピレン（P P）用の光沢型一液蒸発乾燥タイプのインキです。

- 【 用 途 】 ・ 容器、工業部品などのP P成形品
・ ビデオカセットケース、ファイル用バインダーなどのP Pシート
・ 看板、ケースなどのP Pダンブラ
・ P P製品へのパッド印刷用
- 【 刷 版 】 ・ スクリーンは# 2 0 0 ~ 2 7 0メッシュが適しています。
・ 乳剤は耐溶剤性に優れたものを選定して下さい。
- 【 印 刷 】 ・ 希釈溶剤には、F P溶剤標準とF P溶剤遅乾の二種類がありますので、環境、印刷条件、パターンなどによって適宜使い分けて下さい。
・ パッド印刷時には標準にて3 0 %希釈してご使用下さい。
- 【 乾 燥 】 ・ 室温では2 0 ~ 3 0分で指触乾燥しますが、密着性が得られるまでの時間はP P素材の処理の有無によって異なります。
・ 堅牢な密着性を得る為に、8 0℃×5 ~ 1 0分の温風乾燥をお勧めします。
- 【 版 の 洗 浄 】 F P溶剤又は安価なユニクリナー、みの洗剤をご使用下さい。
- 【 色 色 】 標準色 1 6色
030青黄、052黄、096金赤、110赤、130紅、140牡丹、170紫、190浅葱、
200群青、210青、220藍、250緑、300特緑、450白、480黒、930無色
- 【 容 量 】 イ ン キ 1 K g
溶剤及び洗剤 1.5 K g、 1.5 K g
- 【 注 意 事 項 】 ・ 粘着接着タイプのインキの為、素材の表面状態によって十分な密着が得られない場合があります。事前に必ず試験を行い、適否を確かめて下さい。
・ 耐候性が良くありませんので、屋外用途にはよく注意してご使用下さい。
・ ここに記載された事項はすべて弊社の試験に基づいたものですが、素材及び使用条件によって相違する場合があります。事前にご確認の上、ご使用いただきますようお願い致します。
・ このカタログの内容は商品改良の為、予告なく改訂する場合がありますのでご了承下さい。
・ SDSを準備しておりますのでご請求下さい。製品を取り扱う前に内容をご理解の上、ご使用下さい。



被膜性能表

試験項目	試験方法及び条件	結果
密着性	セロテープ剥離及び爪による引掻き	剥離認めず
硬度	鉛筆引掻き試験 45° × 200g	H B 未満
耐摩擦性	カナキン3号 500g × 100回ラビング	異状認めず
耐アルコール性	工業用エタノールを布に浸し 300g × 100回ラビング	異状認めず
耐油性	灯油を布に浸し 300g × 100回ラビング	溶出
耐水性	水道水に5日間浸漬	異状認めず
耐塩水性	5%食塩水に5日間浸漬	異状認めず
耐酸性	10%塩酸に5日間浸漬	異状認めず
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウム水溶液中に5時間浸漬	異状認めず
耐漂白剤性	5%塩素系漂白剤液中に5時間浸漬	異状認めず
耐熱性	塗膜加熱試験 100°C × 24時間	異状認めず
耐温水性	40°C温水に5時間浸漬	異状認めず
耐寒性	-20°C × 10日間	異状認めず
耐洗剤性（洗濯用）	5%洗濯用洗剤液中に10日間浸漬	異状認めず
耐洗剤性（食器用）	5%食器用洗剤液中に10日間浸漬	異状認めず

試験インキ : FPP 450白、480黒

印刷条件 : スマートメッシュP200-48 FP溶剤標準にて20%希釈

乾燥条件 : 印刷後室温にて一週間放置

試験素材 : 軟質ポリエチレン